

NEXT
55



みんなの力で、みんなの幸せを
SAWARABI

さわらび

1 表紙 書道パフォーマンス～軽費老人ホーム若菜荘～

2 医学講話 認知症の人と暮らす家族のための「認知症の理解と対応」

◆福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医 繼 泰城

6 特集 医療法人・社会福祉法人さわらび会 第12回研究発表会

2024
vol.610

2



医学講話

福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医

繼泰城

認知症の人と暮らす家族のための 「認知症の理解と対応」



はじめに

認知症の人と暮らす家族は認知症の人の言動が理解できず、その対応に苦労します。今まで暮らしてきた時と同じように接すると、上手く行かず、どうしていいかわからなくなります。認知症という病気のためとわかつて、いるのに、実際の理解と対応が難しいのです。

私たちと異なる 認知症の物忘れ

認知症では新たに覚えることがで
きません。私たちは、日々見たこと聞
いたことをすべて頭に入れようとしま
す。無意識のうちにも頭の中に入り

認知症の人は認知症になってからの記憶がありません。自分が間違ったことをした記憶、自分が独りで出来な

自分がおかしいという
自覚はない

見たり聞いたりしたことはすでに脳の中に入っていて、それを取り出せばいいのでよく覚えています。

認知症を受け容れる対応

「最近あつたことを本人に確かめて
で本人は落ち着きます。だから次に
自分が言うことを認めてくれたこと
ますが、まずは受け容れてください。
増え言い張り、大声をあげて怒り出
します。とても受け容れ難いとは思い
ません。「どういうこと?」と聞き返さず
に「そ、うなんだ」と受け容れることで
も、「そのため自分が悪いとは決して思い
ません。おかしなことや間違ったこと
をするはずがないと思っています。こ
れが認知症に特有の病識の欠如で、
家族を悩ませる根源です。

のでは、昔自分がしっかりとして、何でも
できた時の記憶だけが残っています。
そのため自分が悪いとは決して思い
ません。おかしなことや間違ったこと
をするはずがないと思っています。こ
れが認知症に特有の病識の欠如で、
家族を悩ませる根源です。

あるから誰か来たはずでしょ」と言つても、「知らん、うるさい」と本人は怒り出します。本人は全く覚えがないので、どんな証拠を見せられても認めることができません。健常者は少し記憶に残っているので、「そう言えばあの時、誰か来たね」と、それに同意することができます。認知症の人にはそれができないのです。

最近あつたことを本人に確かめてはいけません。本人は最近の記憶がなないので答えることが出来ません。いくら理屈で説明しても本人にはできないのです。「玄関に荷物があるけど、どうしたの、誰か来たの?」と聞いても、本人は「知らん」と言います。「荷物が

ますが、まずは受け容れてください。自分の言うことを認めてくれたことで本人は落ち着きます。だから次にどうしようと考へる必要はありません。まずは本人と一緒に悩み、困つてください。「通帳が無くなつた、嫁が盗つたに違ひない」と言う場合、「通帳が無くなつた? それは困つたね」と共感することです。嫁が盗つたと言う点に

は触れず、「困ったね、ちょっと探してみようか」と言います。見つからなく「ないね、後でまた探そうね、そろそろご飯にしようか」と関心を別に向けることです。

認知症でやつていいこと、やつていけないこと

間違いを注意し正そうとしてはいけません。自分が間違っているとは思いませんし、注意してもそれを覚えておられないでの、また同じ間違いをします。間違つたことに何も言わず、本人が居ないところで家族が直しておきのことです。また、家電の使い方など、できなくなつたことを無理に覚えさせようとしてはいけません。やらないでいいようにしておくことです。すると、家族の方が我慢できず、イライラしたり怒れたりします。そうならないようにデイサービスなどを利用し、本人と顔を合わせない時間も多くすることです。そうして一緒に居る時だけは優しく見守つてあげてください。

認知症の人は前もって指示されても覚えておくことができません。「お昼はこれを食べておいてね」と先のことを頼んではいけません。「トイレの後は水を流してください」と張り紙に書いて貼つても、注意障害のため目の前にあつても見ないので、やりません。「今からこれをしようね」と一緒に行うことなら、ちゃんとやつてくれます。

認知症の人は複数のことを言われると理解できません。TVドラマで次々にいろんな人が話すと、次から次へと忘れるので筋がわからなくなります。遂にはドラマも見なくなります。認知症の人に話す時は一度に複数言わずに、簡単な一つのことだけにしてくださいようにしておくことです。そうとも上手くいかないため、「このリモコンは壊れている、誰かが操作して意地悪をしている」と考えます。本人はとても不安で寂しく、心の余裕がありません。そのため、注意されると、今まで長く話をしていると、その話についていけなくなり、イライラして怒り出すことがあります。「自分を除け者にしている、自分の悪口を言っている」と妄想に発展します。本人が居る時は本人に対してゆづくり話してください。

不安からお金にも執着します。孤

認知症の人は前もって指示されても覚えておくことができません。「お昼はこれを食べておいてね」と先のことを頼んではいけません。「トイレの後は水を流してください」と張り紙に書いて貼つても、注意障害のため目の前にあつても見ないので、やりません。「今からこれをしようね」と一緒に行うことなら、ちゃんとやつてくれます。

不安で困っているのは本人

本人に物忘れはしますかと尋ねると、「物忘れはしません、家族はどう思っているか知らないけど」と答えます。自分では何でもできると思うのに、家族が注意したり怒つたりすることを覚えています。嫌な感情の記憶は残りやすいのです。何を言われたかは忘れますが、自分を馬鹿にしていると考えます。だから、自分でやろうとしています。また、自分でやろうとしていることでも、誰も味方になってくれないと感じます。家に帰つても落ち着かないことがあります。家に帰つても落ち着かないことがあります。そこで不安な気持ちが無くなり用を勧めます。デイサービスで人と過ごすことで不安な気持ちが無くなります。来られた人に必ずデイサービスの利

おわりに

認知症になると今までの本人との付き合い方ができなくなります。全く別の付き合い方をしないといけません。家族としてはそれがとても難しいと思いますが、少しづつ受け容れてください。介護に熱心な家族ほど怒ってしまう時もあると思います。その時は怒つてしまつたなあと思つて、少し肩の力を抜いてください。一人で介護をしようと考えず、受けられる支援は皆受けてください。そうして、認知症の人と穏やかに過ごせるといいと考

独のため将来が不安になり、お金を持つていないと不安が強くなります。一人でいると通帳や財布が気になります。「お金がない、盗られた」と繰り返し言います。そのため日頃から不安を取ります。私は認知症で来られた人に必ずデイサービスの利

研究通信

Vol. 159

福祉村病院神経病理研究所 所長

news of study

橋詰 良夫

◆アミロイド β とは
◆はじめに
いよいよ抗ヒト可溶性アミロイド β 凝集体モノクロナール抗体が保険収載され、日本でもレケンビ点滴静注がアルツハイマー病の早期、軽度の認知症患者に使用され始めており、アミロイド β の病態を正確に理解しておく必要があります。本項ではアミロイド β について概説します。

◆アミロイド β とは：老人斑と
アミロイドアンギオパチー

神經細胞胞体内に存在するアミロイド前駆体蛋白(APP)は β 、 γ セクレターゼという切断酵素により分

アミロイド β とは

人斑です。老人斑は神經病理学的にアミロイド β 抗体を使用する免疫染色で容易に観察することができます。その沈着程度や脳内での広がりを判定することができます。アルツハイマー型認知症では老人斑が高度に脳内に出現、また広範囲に出現することが特徴です。しかし高齢者の脳内には一定程度老人斑は出現しており、老人斑の出現のみでは認知症は生じません。「アミロイド仮説」ではアミロイド β の沈着により続発性に神經

細胞内のタウ蛋白のリン酸化が生じ、神經原線維変化が形成され、神經細胞を障害することにより、細胞が脱落し、脳組織の変性、萎縮が生じる

とされています。これによりアルツハイマー型認知症が発症します。【図1】に老人斑の免疫染色を提示します。

またアミロイド β はアミロイドア

ンギオパチーをも引き起こします。

アミロイド β 42の低下、総タウ値およびリン酸化タウ値の上昇が診断マ

イドアンギオパチーと呼びます。主として血管壁の平滑筋に沈着し、アミロイドアンギオパチーは微小出血、微小梗塞、再発性脳葉型皮質下出血の原因となります。アミロイドア

ンギオパチーはアルツハイマー型認知症の脳内に合併して認められます

が、その程度と老人斑の出現との間には必ずしも相関はありません。【図

2】はアミロイドアンギオパチーの免疫染色です。

◆抗アミロイド β 療法

アルツハイマー型認知症の疾患修飾薬である抗アミロイド β 療法が使用可能になった現在、その実施には適応患者の選択が重要です。脳の中

にアミロイド β の沈着があるかどうかを画像で調べる検査方法である

Positron Emission Tomography

(PET: 陽電子放出断層撮影)とい

う撮影方法で、脳内のアミロイド β

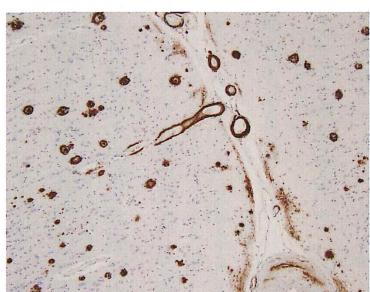


図2:アミロイドアンギオパチー



図1:老人斑 アミロイド β 蛋白による免疫染色

の沈着物を可視化します。また髄液

アミロイド β 42の低下、総タウ値およびリン酸化タウ値の上昇が診断マ

イカーとして推奨されています。この治療では副反応としてアミロイド関連画像異常(ARIA)という脳MRIでの所見が生じることがあり、慎重な対応が必要となります。今後も、この治療方法の進展を見守ってゆく必要があります。

2023年入職 EPA(経済連携協定) 看護師・介護福祉士候補者紹介

さわらび会では、2010年より国際経済交流・連携強化の一環として「EPA外国人看護師・介護福祉士候補者」の受け入れを行っています。2023年は、医療法人において8月にベトナムより5名、12月にインドネシアより8名、フィリピンより9名と総勢22名の看護師・介護福祉士候補者を受け入れました。

候補者は母国で医療系大学や専門学校を卒業し母国での国家資格や学位を取得しており、入国後は公的機関にて定められた研修期間を修了し入職、日本での実務経験を積みながら受験勉強に励み日本の国家資格取得を目指します。現在、さわらび会の各施設で日本の国家資格を取得した多数の元候補者のみなさんが活躍しています。

インドネシア

〈看護師候補者〉



ルディ オクティアンドラ
(ルディ)



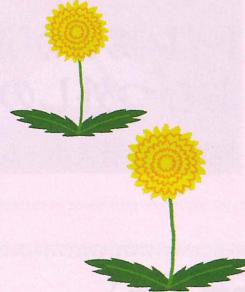
ソリハトゥン ハサナー
(ソリ)



フェロニカ パニルマン
(フェロン)



ワニアガ リアサンディ
(アガ)



〈介護福祉士候補者〉



ハンナ ウリナ ブルバ
(ハンナ)



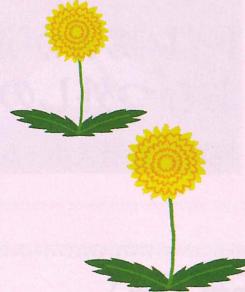
ハサナー
(ハサナー)



エニ ムナンディロー
(エニ)



リスカ リタワティ バルス
(リスカ)



フィリピン

〈看護師候補者〉



コラノ アーネル ホルヘ
(アーネル)



ハイリル ヌヒマ ブラ
(リマ)



エブエンドン カルロ ロブレス ラミニアオ ジェストニ デラ ペニャ
(カルロ)



写真下:氏名、()内は通称



〈介護福祉士候補者〉



エラスガ ラヤン ジョセフ ガルデオラ
(ヤン)



アラゴン クリストシン ライノ
(クリス)



デ テナ ジョイ ゴドイ
(ジョイ)



セヘラ ケイ アン クタモラ
(ケイ)



バニヤガ ジェイソン デナガ
(ムシエ)

ベトナム

〈看護師候補者〉



レーティフエ
(フエ)



ルーシー ヌー チャム
(チャム)



フン ティ リン
(リン)



チャン ティ ホン
(ホン)

写真下:氏名、()内は通称



チャン チョン ハー
(ハー)

第12回 研究発表会



前列左側から● 豊橋市社会福祉協議会 松井晴男氏
専務理事 山本ゆかり
豊橋創造大学保健医療学部
理学療法学科教授 八木幸一氏
愛知県立宝陵高校
非常勤講師 山本浩二氏

最優秀賞

トイレ誘導が進まなかった入居者への おむつ外しの取り組み

特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 理学療法士 廣瀬 正明



取組・目的

高齢者入所施設において排泄状態について十分に評価されることが少ないとため、根拠に基づいた排泄ケアができずおむつ使用によってADL・QOLの低下、尿路感染症、失禁関連皮膚炎(IAD)など様々な問題が生じていると考えました。そこで、おむつ外しについて高齢者排尿管理アルゴリズムに沿って残尿測定を記録した排尿日誌と排尿チェック表から尿失禁のタイプを診断し対処方法を検討することで排尿機能に着目した高齢者の排泄ケアの取り組みを行いました。

介入方法

入所後トイレ誘導が進まない95歳の女性について、排尿日誌、排尿チェック表から機能性尿失禁、腹圧性尿失禁が原因であることがわかりました。また、排尿日誌から蓄尿・排尿の機能が保たれていること、おむつ交換では常に残尿が認められるのに対して、トイレでは残尿なく排出できること、膀胱の容量が小さいこと、尿意が乏しいことなどがわかりました。そこで、16日間のおむつ失禁量・トイレ排尿量とVitality Index、Berg Balance Scale、FIM、主要下部尿路症状スコア、IAD-setで評価をしました。そして、行動療法、理学療法、スキンケアをおこない取り組みを実施しました。

結果

膀胱の状態が分かったことでおおよその排尿パターンを見つけることができ、おむつ失禁量を減らしトイレ排尿量を増やすことができました。トイレに対する関心が高まり自らトイレに行きたいと訴えることが増えADLの改善、QOLの向上、IAD・尿路感染症・膀胱炎のリスク軽減、離床時間の拡大などがみられました。また、介護職員、リハビリ、看護師それぞれにメリットがみられました。

まとめと今後の課題

今回の事例で排泄が表に出しにくい問題であるため、排泄ケアを改善することで意欲が高まり日常生活に与える影響が大きく様々なメリットがあることがわかりました。排泄状態を把握し根拠のあるケアをおこなうことがADLの改善、QOLの向上につながるため、今後、排泄状態の評価を充実させることが必要であると考えます。

特集

医療法人 社会福祉法人 さわらび会

2023年12月12日、福祉村病院内にて「医療法人・社会福祉法人さわらび会 第12回研究発表会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の流行により、2019年10月を最後にしばらく開催できておりませんでしたが、その間にも職員による研究は進んでおり、9組が研究成果を発表しました。

またお忙しい中、豊橋市社会福祉協議会 松井晴男氏、豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科教授 八木幸一氏、愛知県立宝陵高校非常勤講師 山本浩二氏の3名がご参加ください、審査及び講評をしてくださいました。

最優秀賞

生活機能向上連携加算における連携強化 LINEWORKSを活用した取り組み

福祉村老人保健施設ジュゲム 作業療法士 船藤 悠太



取組・目的

グループホーム フジでの生活機能向上連携加算取得のために、月に一度ジュゲムからグループホーム フジヘリハビリ専門職が訪問し、入居者の生活機能の評価、職員への機能訓練に対して助言を行っています。しかし、月に一度の訪問では、入居者の状態を把握し切れず、自立への促進、重度化予防に対して効果が実感し難いと感じていました。また、職員、入居者の要望や期待に応えられている実感がなく、生活機能向上連携加算取得において、連携が機能していないと感じていました。

今回の取組ではLINEWORKSのビデオ通話を活用し訪問前に課題を明確化することで訪問時により適切な助言を行うこと、助言した内容が適切であったかフィードバックし、次回の訪問に繋げることで訪問時の介入の質の向上に繋げ、また施設間のコミュニケーション頻度を高めることで連携の強化を図りました。

結果

今回の取組の中で職員からの要望が増し助言する機会が増え、以前よりも連携が図れていると感じました。また研究活動後に職員に対して実施したアンケートにて、対象者のいたフロアからはLINEWORKSを使うことで身近に感じ、簡単に情報交換ができる安心感が得られた、些細なことでも相談しやすくなったと返答がありました。対象者がいないフロアからは今回研究に参加できず、残念だったが、送られた機能訓練のメニューは目を通し、参考にしているといった熱心で前向きな意見がありました。

今後の展望

今後の取組としてビデオ通話は入居者の反応は良かったが、職員間の時間調整が課題でした。訪問日、ビデオ通話実施日を事前に設定し施設間の調整が円滑に進められるよう改善したいと思っています。また訪問時の介入を動画として残し、他職員にも見てもらうことで情報共有を図っていく予定です。

優秀賞

眠りSCAN活用への取り組み

特別養護老人ホーム さわらび荘 介護士 熊谷 ひらり
理学療法士 鳥居 浩平



さわらび荘では利用者様のADL維持向上や職員の業務負担の改善を図るため、2022年3月よりパラマウントベッド株式会社より「眠りSCAN」の導入を開始した。もともと、さわらびグループ唯一の従来型特別養護老人ホームであり、1人の夜勤職員が対応しなければならない利用者様の数が比較的多く、一人一人の睡眠状況に気を配ることが難しい状況にあった。そのため、ICT機器を活用により利用者様のADL改善、職員の負担軽減を目指している。導入にあたり勉強会やデモンストレーションの実施、通信環境や居室の整備、利用者様の生活改善など様々な取り組みを行った。

奨励賞

虐待防止の取り組み ～どんな時も 優しい気持ちで～

障害者支援施設 珠藻荘 生活支援員 岩水 友美



2022年度より虐待防止委員会の設置が義務化され、珠藻荘でも虐待防止委員会と名称を変えて立ち上げ、“業務中忙しい中でも相手へ思いやりの気持ちを持つことが不適切な支援に繋がらないのではないか”と考えました。業務用のスマートフォンのアプリを活用して月2回、全職員へ一つずつメッセージの配信を行い一定の効果が見られました。

今後も働きやすい職場環境を目指して取り組んでまいります。

奨励賞

認知症症状による無断外出の軽減について

デイサービスセンター八町 介護士 権田 千尋
介護士 村松 貴子



デイサービスでBPSDがある認知症の方が、住み慣れた地域で、安心して自分らしく生活するために何ができるのかをチームで取り組みました。その結果、ご利用者の気持ちに寄り添うことや職員の統一したケアによって、BPSDが軽減し、安心して生活できるのだと再認識できました。今後もBPSDが起こる背景を考えながら、ご利用者と向き合っていきたいです。

奨励賞

装具作成と日常生活

障害福祉サービス事業所 しろがね 生活支援員 太田 延行
生活支援員 藤井 紗



今回の装具作成では当初想定していた歩行能力を維持向上させる装具を作成することはできたが、日常生活の中での使いづらさが目立つ結果となりました。今後装具を作る際はリハビリ、日常動作、介助動作など様々な視点からの意見を取り入れ、ご家族や様々な職種で連携を強化し利用者様の人生がより良いものになるようお手伝いをしていきたいと思います。

優秀賞

BPSD症状の強い方への取り組み 「ひもときシート」の活用により攻撃性が改善され 穏やかな生活に繋がった一例

福祉村病院 介護医療院4階 介護福祉士 鶴目 祥代
加藤 尚



BPSD症状の強い方に認知症介護実践者研修での学びを取り組みました。ひもときシートを活用してニーズを抽出、旅行や飼い犬の写真を見て会話する時間を設け、他者との交流の時間も作りました。歩きたい要望に関してはトイレ誘導も兼ねて職員2名介助にて歩行する機会を作りました。多職種で情報共有を行いチームで統一したケアを実施することで攻撃性のある入所者様が穏やかな生活が送れるようになりました。

今回の取り組みを通して職員の意識改革、意欲向上に繋がったため、引き続き認知症ケアに務めていきます。

奨励賞

転落防止に向けた取り組み Standing test for Imbalance and Disequilibrium(SIDE)の検討

福祉村病院 理学療法士 鈴木 順太



当院、転倒・転落へのアセスメントとしてスコアシートを使用していました。今回、バランス機能の評価であるSIDEを併用することで、バランス機能の評価が補われ、より転倒・転落の検出率が増加するのではないかと考えたのが今回の経緯です。

結果として、検出率は増加しましたが、転倒・転落の件数が減少しませんでした。

今後の課題として、転倒・転落の検出率だけではなく、対応や職員への周知が必要だと感じました。

今回の発表で終わってしまうのではなく引き続き転倒・転落のアセスメントについて考え、行動していきたいと思います。

奨励賞

認知症初期集中支援チーム(はつらつチーム)の取り組み サービス利用拒否の方に対しての取り組み

福祉村病院 介護福祉士 山口 晓子



認知症初期集中支援チームは、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、全国の市町村に配置され、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目指している。

当院では豊橋市の委託を受け、サポート医をはじめ、医療職と介護職で活動を行っている。具体的には、家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的(おおむね6ヶ月)に行い、自立生活のサポートを行っている。

静的弛緩誘導法を用いた学習会

（障害福祉サービス事業所すみれ）

すみれでは11月27日、12月18日と2日間にわたり、愛知県立豊橋特別支援学校の桑名廉先生にお越しいただき静的弛緩指導法について教えていただきました。1日目は障害者の方の発達を意識した触り方を学び、実際に体験しました。手のぬくもりを感じてとても気持ちよかったです。



地域包括支援センターの活動

（さわらび地域包括支援センター）

12月2～3日、石巻地区市民館祭りにて、来館する方を対象に体組成計を用いた健康チェックを行いました。市民館祭りで健康チェックをしていることを知らない方も多く、今後も広報・啓発していくたいと思いま

す。

（白井）

12月4日、芦原校区の居場所「こころのほっとカフェ」に参加しました。12月6日、野依校区民生委員定例会へ参加しました。

（村井）



▲こころのほっとカフェ

利用者様の生活支援

（デイサービスセンター八町）

フジでは、踏み台昇降運動や歩行訓練、ホワイトボードを使つたしりとりなど、身体機能・認知機能低下の予防活動を日々行っています。

（デイサービスセンター八町）

月18日～22日の間、ボランティアの方々がオカリナ演奏会を開いてくださいました。

（塩見）



「夢のクリスマスコンサート」の開催

12月20日、さわらび大学特別企画として、元劇団四季・ミュージカル講師の天野陽一氏率いるプロの音楽家たちによる「夢のクリスマスコンサート」が第一さわらび荘ふれあいホールにて開催されました。クリスマスソングを中心に、劇団四季ミュージカルで有名な楽曲も特別に披露され、一流の音楽家の演奏に会場は大盛況となりました。

（簞部）

行事報告

（福祉村保育園）

12月9日、発表会を行いました。

12月28日、若菜荘に、子ども達が作った年賀状をお届けしました。



（橋本）

12月11日に年末行事を行いました。今年度は「あかね荘年末紅白歌合戦」と題し、カラオケを実施しました。利用者の皆様から「楽しかったよ。」「もっと歌いたかったな。」と嬉しいお言葉を沢山いただきました。今後も皆様に喜んでいただけるような行事を計画していきます。（庵原）



12月15日に、普段ディイサービスで行っている「音楽療法的介入」の音楽発表会を開催しました。当日は4組5名のご家族が見に来られ、「丘を越えた。（手の振りと足踏みで全身運動）」「ジングルベル（鈴、タンバリンなど打楽器を鳴らす）等、全7曲を披露しました。（中坪）

（認知症対応型ディイサービスセンター 常盤）

冬至のため、珠藻荘の利用者様は12月21日、22日に渡り、ゆず湯に入り身体を温められました。（岩水）



12月21日、福祉村保育園の園児の方たちにプレゼントの配布に訪問しました。（白石）

（医療法人さわらび会）

12月22日～25日にかけて、クリスマス会を行いました。（西潟）

（輕費老人ホーム 若菜荘）

12月21日、福祉村保育園の園児の方たちにプレゼントの配布に訪問しました。

クリスマス会

（福祉村保育園）

12月21日にクリスマス会を行いました。若菜荘よりプレゼントをいただきました。

12月22日理事長先生扮するサンタさんから、クリスマスプレゼントをいただきました。ダンスも一緒に踊り楽しい一時を過ごしました。（橋本）

12月13日、珠藻荘でクリスマス忘年会を開催いたしました。（岩水）

（障害者支援施設 珠藻荘）

12月16日にクリスマス会を行いました。（古橋）

（障害福祉サービス事業所 明日香）

12月25日のクリスマス会でおやつ作りをしました。（藤井）



良い加減の暮らし

谷さゆり

水筒と魔法瓶

去年の暮れ、魔法瓶を買いました。ステンレス製卓上魔法瓶で、お手入れしやすい広口でなんと開閉レバーをつまめばワンタッチでふたの脱着が出来る優れもの。お湯を注ぐのも取手側のレバーを片手で押し下げるだけのワン・ポン・プッシュ。アクアブルーの水差し型の魔法瓶で容量は1・6リットル、南部鉄瓶で沸かしたお湯が溢れることなく入ります。取手はとても持ちやすくお湯で満タンになつた時でも片手で操作できます。すごく楽です。と書くと、じゃあ魔法瓶を買うまではどうしてたの?とお尋ねがあると思います。鉄瓶に沸かしたお湯を入れっぱなしにしていると錆びますからね。答えは水筒です。500ミリリットル入ります。: 実は900ミリリットル入る水筒やお洒落なステンレスキャリータンブラー等々、いくつか保温保冷可能な入れ物を持つていました。特にステンレスキャリータンブラーはペールグリーンの素敵な色合いで一目惚れ

した物で大切に使っていたのでした。で、年末年始のお掃除という事で気合を入れて水筒、タンブラーに水筒専用の洗浄タブレットを入れ、入れ、洗浄してピカピカの水筒・タンブラーで新年を迎えるはずでした。家事がお得意の皆様やご自身で水筒洗浄タブレットを使って洗つている皆々様ならこの時点でお気づきのはずです。おいおい、順番違うつて！そう、水筒洗浄タブレットは水を張った中にタブレットを投入して洗浄します。手順を逆にすると、ですね、洗浄タブレットが水筒やタンブラーの底に張り付きそのままこびりついてしまうのです。それに気づかず洗浄後900ミリツトルの水筒に鉄瓶からお湯を入れ始めるとブルーの泡が立ち上り、ミントの香りまでしてくるではありませんか！もちろん何度も洗いましたが青い洗浄剤が張り付いているのが確認できました。一本の水筒とお気に入りのタンブラーは令和5年の暮れに去る事となりました…洗浄タブレットが一つ足りず洗っていましたが、ちびちび飲んでいたのでした。今は水筒と魔法瓶を併用しています。山用の水筒なので保温力が違うのです。夜沸かしたお湯を翌朝飲もうとすると水筒はコーヒーを入れる事が出来るほど熱いのですが魔法瓶はちょうど飲み頃の白湯になっています。2023年の年末は行く水筒、来る魔法瓶となりました。

先輩に言われ入りました。

楽人に10年ぐらい前、町内の

鬼祭りを行う
あくみかんべしんめいしゃ
安久美神戸神明社の

Vol. 190
relay column さわらび会のわ

輕費老人ホーム若菜荘



数年かぶりやつと音が出るようになりましたが、「ロナの影響で、祭礼は最少人数で行なう」となり参加する人が増えました。

神明社の樂人は、太鼓、鞨鼓、笙、龍笛、簾篥とのつの樂器があり、雅樂、越天樂他の曲浦安の舞をやります。

輩に楽人をやつしむりのたため断れませんでした。
長年、曲尺手町が楽人をやつして、私の祖父
と父も筆篥ひかりきを吹いていたため筆篥ひかりきを吹くことに
はつまつとい。

透明さを持つ
この海の中は、
魅惑的な世界
が広がっています。
そこではサ
ンゴ礁がリズ
ミカルな潮と
ともに揺れ動
き、色鮮やか
な海洋生物で
活気づいてい
ます。多くの
シユノーケラ
やダイバーが
この海に魅力
的な海洋生物
を見にやって
きます。



私の故郷ダバオは、おいしい食べ物、多様な文化、楽しいアクティビティ、そしてサマール島の白い砂浜で知られています。ダバオの魅力的な海岸に佇むサマル島は、透明な水で静かな美しさを放つ宝石のような場所です。

私のふるさと

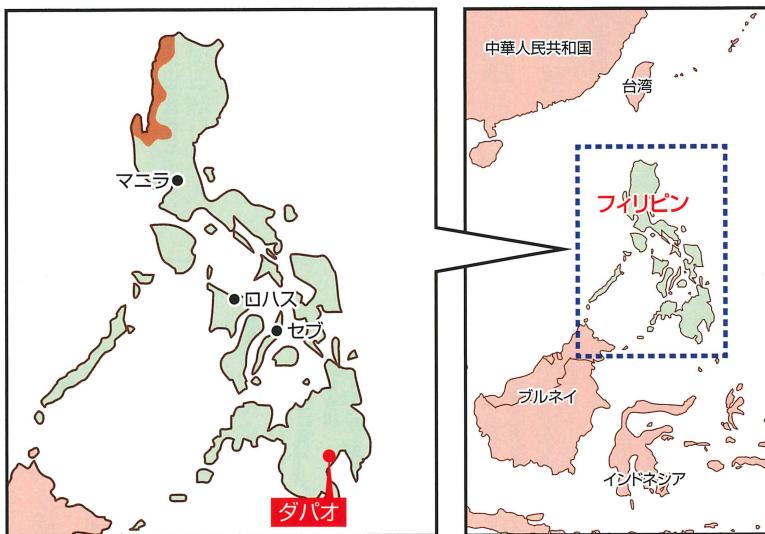
第一さわらび荘

マリガテ・レオアンジエリバ

出身 ● フィリピン 北ダバオ州
学歴 ● University of Mindanao (College of Nursing)
資格 ● 看護師



フィリピン ダパオ周辺の主要都市



サマル島の水を特別なものにしているのは、手つかずの自然です。都会の喧騒から解放された海岸は、自然の美しさを求めの人々にとても人気があります。岸辺に押し寄せる波は、訪れる人々に癒しを与えるます。ここでは時間がゆっくりと流れ、旅人たちは偉大な自然に身を委ねることができます。サマル島の透明な水は招待状であり、海と岸が交わる場所でしか味わえない純粹さと静寂の喜びを存分に味わうことができます。

一度訪れたら好きになること間違いなしです！新しい人生の経験が待っています。ぜひダバオに訪れてみてください。



鍋物の楽しみは最後の締めにもあります。じゃ
んを入れて雑炊や「ジット」にしたり、「うどんや
ラーメンを入れても最後まで美味しい食べ物と
ができます。

全て入つていて電子レンジで加熱するものもあり、手軽に鍋物を楽しむことがじきがじきです。

寒い日が続いています。

第117回 栄養士のつぶやき さわらびキッチン

明日香 栄養士 小林由香



さわらび Diary

R5.12.6~R6.1.5

さわらび会後援会寄附ご芳名

令和5年12月6日～令和6年1月5日

新城市南畠 7 4	光田屋(株)	10,000 円
豊橋市野依町字西物草 1 2	家具の街ヨコモクランド	5,000 円
豊橋市小池町 3 6 - 1	共和印刷(株)	10,000 円
豊橋市入舟町 2 1	(株)三恵薬品	10,000 円
豊橋市駅前大通一丁目 5 5 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000 円
豊橋市野依町字山中 1 9 - 1 4 福祉村病院職員有志		1,000 円
豊橋市東雲町	梅村秀順氏	14,000 円
匿名氏		3,000 円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 63,000円
 現在までにご寄附いただきました金額は
898,713,696円

●福祉用具紹介のコーナー

使っていいねボトル用のびのびストロー・キャップ

ボトル缶やペットボトルに被せるだけで使用できるストロー・キャップです。キャップを専用ケースに付属のストローと一緒に収納可能なため、持ち運びや保管に便利です。ストローの使用で飲みやすく、場所を問わずに水分補給ができます。

(さわらび地域包括支援センター 白井)



販売価格:660円(税込)

問い合わせ先

福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

車椅子の寄付をいただきました ～社会福祉法人さわらび会～

12月13日に藤ノ花女子高等学校が車椅子2台をご寄付くださいました。新型コロナ感染症で中止していたバザー活動を、生徒、先生、PTAの皆様が今年久しぶりに再開し、その活動で得た収益金でご購入くださいましたとのことです。必要な施設にて大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

(東郡)



手作り鳥居でお参り ～特別養護老人ホームさわらび荘～

年明けの寒い時期、初詣に気軽に出掛けることができないため、職員の手作りで鳥居を設置しました。皆様、真剣にお参りをされています。(渡邊憲)



みんなのアート展あいち開催 ～障害福祉サービス事業所 明日香～

2月6日～11日まで豊川市の桜が丘ミュージアムにてみんなのアート展あいちが開催されます。

明日香の利用者様5名も絵画を展出します。是非、足をお運びください。(安田)

＊お礼コーナー ありがとうございました *

※豊橋善意銀行を通して

▼中西光代様*

日本茶 無農薬茶葉(さわらび荘)

▼三河海苔問屋協同組合様*

焼き海苔・卓上海苔(珠藻荘)

▼高瀬則光様*

精米20kg(珠藻荘)

▼株式会社ナカノフード一建設様

クリスマスケーキ(さわらび荘、白珠、常盤、珠藻荘、明日香、しづかね、第二さわらび荘、カサブランカ、カサデヴェルデ、天伯、ブジシャトーローズハ町、カサデローザ)

農福連携への取り組み ～障害福祉サービス事業所 明日香～



お米を販売しています

価格:1kg 1,080円(税込み)

白米と玄米があります

問い合わせ先

障害福祉サービス事業所 明日香

TEL:0532-46-6579

Mail:asuka@sawarabi.or.jp

担当:朝蔭

12月19日、自然農法の力 代表 今枝稚加良様を講師にお迎えし、農業技術習得研修を実施しました。この研修は愛知県内の就労継続支援事業等の工賃向上に向けた取り組みを支援するために行っているものです。当時は畠と田んぼの土壤調査や農機具が正常に使えるかを見ていただき、次年度の農業への取り組み方についてレクチャーしていただきました。

明日香では農業を始めて7年になります。自然栽培の難しさはありますが、良い作物を育て、利用者様の工賃アップや年間を通しての作業提供をしていくよう、引き続きアドバイスをいただきながらしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

(安田)

※農福連携とは

障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性も持っている。

- 福祉村病院 〒(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム 〒(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 〒(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 〒(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 〒(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ 〒(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ 〒(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ 〒(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天伯 〒(0532)48-1113
- グループホーム フジ 〒(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 〒(0532)48-1138

- 障害者支援施設 珠藻荘 〒(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 〒(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 〒(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね 〒(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター 〒(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトーローズ八町 〒(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 〒(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ 〒(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム 〒(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

令和6年能登半島地震で
被災された皆様へ

心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興と皆様の
ご健康をお祈りいたします。

医療法人 さわらび会 理事長 山本孝之
社会福祉法人
さわらびグループ
職員一同